



登別市立鷺別中学校 学校便り

【学校教育目標】

健康で明るい人（強い心と体、健康安全、明朗性）
 情操豊かな人（思いやる心、公共心、創造性）
 勤労意欲の強い人（勤労、責任感、根気、実践力）
 真理を愛する人（正義感、協調性、思考力、判断力）
 礼儀正しい人（礼儀、敬愛心、規律）

令和6年3月1日発行 学校評価特別号

令和5年度「学校評価」結果等のお知らせ ～「よりよい鷺中を創る」ために～

昨年12月に実施しました今年度の学校評価（生徒自己評価・保護者アンケート）では、御多用中にも関わらず、御協力いただきありがとうございました。おかげさまで、92.6%という高い回収率で保護者の皆様に回答いただき、信用性の高い評価結果を得ることができました。その集計結果と分析・考察等についてまとめましたので、お知らせいたします。

1 小中共同実践項目について【回答率：92.6%】（生徒自己評価と保護者アンケート、教職員評価から）

(1) 集計結果（経年推移） A:5点（よくできている） B:4点（だいたいできている） C:2点（あまりできていない） D:1点（ほとんどできていない）

A B C D 得点：A=5, B=4, C=2, D=1として数値化

アンケート番号	項目		今年度の評価割合(ABCDの全体に対する割合 %表記)	今年度	令和4年度	令和3年度
保護者7 生徒6	【保護者・教職員】 学校は、子どもが意見を伝えることを大切に して、教育活動を進めている。 【生徒】 あなたは、自分の考えや意見を他者に伝 える(発表・発言等)ことができましたか。	保護者		4.0	4.0	
		教職員		4.2	4.2	
		生徒		3.6	3.4	3.4
保護者8 生徒7	【保護者・教職員】 学校は、難しいことでも失敗を恐れずに 挑戦できる教育活動を進めている。 【生徒】 あなたは、難しいことでも失敗を恐れずに 挑戦することができましたか。	保護者		3.9	3.9	
		教職員		4.0	4.0	
		生徒		3.7	3.7	
保護者9 生徒8	【保護者・教職員】 学校は、自分と違う意見を大切にし、考 えることの楽しさが実感できる教育活動 を進めている。 【生徒】 あなたは、自分の意見を大切に、考 えることの楽しさを実感することができま したか。	保護者		3.9	3.8	
		教職員		4.1	4.2	
		生徒		3.9	3.8	

※ 4.2P以上：青字 3.7P以下：赤字 前年度比0.2P以上↑：青塗 0.2P以上↓：赤塗

(2) 分析・考察等

※上記3項目、生徒自己評価、保護者アンケート、教職員評価と同一質問内容で三者比較項目となっています。

△鷺別中学校区3校の共通実践項目については、生徒が2項目で昨年度より上昇しているものの、どの項目も8割の評価を得ることはできていません。今後も校区の教員が同じ視点で指導と育成にあたり、「自分の意見を伝え

る力」「失敗を恐れずに挑戦する力」「相手の意見を聞いて考える力」が身に付くよう連携を深めていきます。
 △生徒 NO. 8（保護者 NO. 9）以外の2項目については、保護者が感じているほど生徒自身は、身に付いている自信が感じられないことがわかります。

2 目指す生徒像について【回答率：92.6%】（生徒自己評価と保護者アンケートから）

(1) 集計結果（経年推移） A:5点（よくできている） B:4点（だいたいできている） C:2点（あまりできていない） D:1点（ほとんどできていない）



得点: A=5, B=4, C=2, D=1として数値化

アンケート番号	項目		今年度の評価割合(ABCDの全体に対する割合 % 表記)	今年度	令和4年度	令和3年度
保護者10 生徒 1	【保護者】 子どもは、目標を持って自ら勉強できている。 【生徒】 あなたは、目標をもち、自ら学習することができましたか。	保護者		3.5	3.4	3.5
		生徒		3.6	3.6	3.6
保護者11 生徒 2	【保護者】 子どもは、他者を思いやり協力することができている。 【生徒】 あなたは、友達を思いやることができましたか。	保護者		4.2	4.1	4.2
		生徒		4.4	4.4	4.5
保護者12 生徒 3	【保護者】 子どもは、安全で健康的に生活できている。 【生徒】 あなたは、安全で健康的に生活することができましたか。	保護者		4.2	4.3	4.2
		生徒		4.0	4.2	4.1
保護者13 生徒 4	【保護者】 子どもは、場に応じた挨拶ができている。 【生徒】 あなたは、場に応じたあいさつができましたか。	保護者		4.2	4.3	4.1
		生徒		4.5	4.4	4.4
保護者14 生徒 5	【保護者】 子どもは、きまりを守って生活できている。 【生徒】 あなたは、きまりを守り、生活できましたか。	保護者		3.9	4.0	4.1
		生徒		4.3	4.4	4.3

※ 4.2P以上：青字 3.7P以下：赤字 前年度比0.2P以上↑：青塗 0.2P以上↓：赤塗

(2) 分析・考察等

※上記5項目が、生徒自己評価、保護者アンケートで同一質問内容の二者比較項目となっています。

●学習面の生徒 NO. 1（保護者 NO. 10）については、保護者評価は昨年度より上がっているものの7割の評価で低い結果となっており、保護者と生徒が同じ意識ということがわかります。生徒たち自身の意識が低い結果となっていますので、学校での授業はもとより、家庭学習の習慣化へ向けた取組は、本校の最重要課題の一つです。今後も、家庭と連携を図りながら、学年段階に応じた家庭学習時間の適切な確保や自己調整型の学習態度が身に付くよう努めていきます。

○生活面の生徒 NO. 2～5（保護者 NO. 11～14）については、生徒3（保護者12）以外は、生徒評価がいずれの項目も9割程度の評価で、保護者が感じているより、生徒自身が身に付いていると自信を持っていることがわかり

ます。特に「あいさつ」と「きまりを守った生活」については、その傾向が顕著に見られます。今後も道徳科の授業等により、より一層基本的な生活習慣の意識が高まるよう努めていきます。

- 一方、生活面の生徒 NO. 3（保護者 NO. 12）については、生徒評価が昨年度より 0.2P 下がった結果となっています。健康・安全教育の充実を図るためにも、より学習のねらいを明確にさせた中で、外部講師を積極的に活用した授業を展開し、生徒自身の体や命を大切にする心や態度を育てていきます。

3 その他 保護者アンケートの結果について【回答率：92.6%】

(1) 集計結果（経年推移） A:5 点（よくできている） B:4 点（だいたいできている） C:2 点（あまりできていない） D:1 点（ほとんどできていない）

【学校運営】

NO	評価項目	R5	R4	R3
1	学校は、教育目標・教育方針を分かりやすく伝えている。	4.1	4.1	4.1
2	各種通信やHPで学校での子どもの生活の様子を知ることができる。	4.0	4.2	4.1
3	学校は、授業や行事を参観する機会を適切に設けている。	4.3	4.3	3.8
4	学校は、子どもの良いところや努力を適切に評価している。	4.2	4.2	4.0
5	学校は、施設・設備の整備に努め、安全な教育環境をつくっている。	3.5	3.8	3.9
6	学校は、職業や進路について適切に指導し、情報提供を行っている。	4.0	4.0	4.0

【学習・評価】

15	学校は、学習評価を子どもや保護者に分かりやすく示している。	4.1	4.2	4.1
16	学校は、子どもの学力や学習の様子を適切に評価している。	4.1	4.2	4.1
17	学校は、指導方法や教材を工夫して、分かりやすい授業づくりに努めている。	4.0	4.0	3.9
18	子どもは、学校の授業内容を理解している。	3.5	3.5	3.5

【生活指導】

19	子どもは、中学生としての基本的な生活習慣を身に付けている。	3.9	3.8	4.1
20	学校は、挨拶、ルール、マナー等を適切に指導している。	4.2	4.2	4.2
21	学校は、いじめや悪い行動に対して適切に指導している。	4.0	4.0	3.9

【コミュニティ・スクール（学校運営協議会）】

22	コミュニティ・スクールは、学校や地域の特色を生かして行っている。	3.7	3.7	3.9
----	----------------------------------	-----	-----	-----

※ 4.2P 以上：青字 3.7P 以下：赤字 前年度比 0.2P 以上↑：青塗 0.2P 以上↓：赤塗

(2) 分析・考察等

【学校運営】

○各項目とも概ね 8 割以上の評価で、高い結果となっています。引き続き、授業参観や学校行事等への参加を通して、生徒たちの活動の様子や成長の過程を見てもらえるような工夫を図り、信頼される学校づくりに努めていきます。昨年度より、0.2P 下がった NO. 2 については、学級通信や学校便り等を通して、地域とともにある学校づくりの視点から、保護者のもとより、地域の方々にも学校の様子を知っていただけるよう努めていきます。

- NO. 5 のみ 7 割の評価で、昨年度より 0.3P 下がっています。今夏の異常な暑さや校舎老朽化に伴う寒さに対する生徒の健康面を心配されてのことと思います。この項目については、記述項目でもたくさんの御意見をいただきましたので、記述項目に係わる分析・考察を御覧下さい。

【学習・評価】

○学校の学習指導としての取組である NO. 15～17 の「学習評価の提示」や「適切な評価」、「分かりやすい授業づくり」については、8割以上の評価で高い結果となっています。今後も、指導と評価が一体となった分かりやすい授業づくりに努めていきます。

●一方、NO. 18 が7割と低い評価であることから、生徒が授業内容を十分に理解しているとは、保護者は感じていません。学校としては、全国学力・学習状況調査等、各種調査やアセスメントを通して生徒の実態を把握し、学力向上を目指した授業改善に取り組んでいきます。

【生活指導】

○学校の生徒指導としての取組である NO. 20～21 の「挨拶、ルール、マナー等」や「いじめ等」に対する指導については、学習指導同様、8割以上の評価で高い結果となっています。引き続き、積極的ないじめの認知をはじめ、組織的な対応に努め、生徒・保護者から学校側が適切に対応していると実感してもらえるよう日常的な連携を図っていきます。

【コミュニティ・スクール（学校運営協議会）】

●昨年度からの数値変化はなく、あまり高い評価結果とはなっていません。今後も、学校運営協議会で提案された意見等を広く発信したり、地域人材や資源を積極的に活用したりするなど、より一層、地域の特色を生かした教育活動の積み重ねに対する評価が得られるよう努めていきます。

4 保護者「記述項目」について

(1) 主な記述内容

今年度も、学習指導や生徒指導をはじめ、多岐にわたる意見や要望、感想等をいただきました。全文は掲載いたしません、主な内容については次のとおりです。

<教職員について>

○子供たちのために尽力してくれていることへの感謝と子供たちへの色々な学びのサポート依頼（意見）

○このままみんなが楽しく仲良く過ごしていける学校づくり（意見）

○やりとり帳のコメントへの感謝（意見）

○先生に対する子供たちのストレス（意見）

○部活動顧問の生徒への理不尽と感ずる言動と体制への不信感（意見）

<ICT等の推進について>

○保護者への通信やプリント等の配布に係るメールやアプリの積極的活用（要望）※同内容1件

○保護者説明会の日時等の早期のお知らせ（要望）

<学習面について>

○学習能力を高める対策法（要望）

○平均点が低いテストに対する出題の仕方や授業の見直し（要望）※同内容1件

○病欠等の際の学習のフォロー（要望）

<生活面について>

○これからも引き続きいじめのない学校（意見）※同内容2件

○挨拶ができない子どもが多いことへの危惧（意見）

○学校設備へのいたずらに対するその後の指導方法の在り方（意見）

○教室の温度・湿度への適切な対処や服装・寒さ対策グッズなど持参してよい物の明確化（要望）

○生徒が先生、子供が大人に対する意識の低下への危惧と関係の築き方への指導（意見）

- 大量の学習道具で登下校するリスクと子どもたちの負担軽減（意見）
- 子供の変化は家庭や地域も含めて学校と協力しながらの情報共有や子供への働きかけが大切（意見）
- ＜学校運営・学級経営について＞
- 学力に合わせたクラス編成（意見）
- 困った時に相談しやすい雰囲気づくりと誰かに相談できる環境づくり（意見）
- 天候不順時の生徒玄関の早期開錠（要望）
- 子供達が個性を活かしながら希望が持てるよう伸び伸びとした驚中への期待（意見）
- 引き続き、子供のやる気を大切にしたいサポート依頼（意見）
- 学校に行く機会や子供の学校生活の様子を見る機会の増加（要望）
- コミュニケーション力の向上（意見）
- 保護者に活動内容が伝わるような工夫（要望）
- 受験に対する2年時からの相談やオープンスクールの情報提供（要望）
- 先生達の仕事量や負担が減少し、その分、子供達のために使える時間の確保（意見）
- ＜行事等について＞
- 子供の意見を取り入れた楽しい行事等（意見）
- 学校行事等の見直しやいろいろな事を経験させてあげる機会（意見）
- ＜学校施設等や教育環境について＞
- 校舎老朽化に伴う冬の寒さ対策と夏の暑さ対策（要望）※同内容多数
- 生徒が健やかに学校生活を送れるための校舎の改修・環境整備（要望）※同内容多数
- 物品設置に係る危険を予測する安全対策（意見）
- ＜アンケートについて＞
- 親からの視点からはわからない質問項目の存在と質問内容の見直し（要望）
- 先生たちの意識改革や研修（意見）
- アンケート結果による学校や先生方の変容の公表（要望）

(2) 分析・考察等

現在、職員会議等を通して、これらの意見や要望に対し、多面的に検討を重ねています。次年度においても、懇談会等において保護者から意見を伺ったり、生徒会活動の中で生徒自身の意見を聞いたりしながら、取組や改善の方向性を検討していきます。

意見・要望の中で顕著に多かったのは、保護者アンケート項目で評価の低かった施設・設備の整備面に關わることです。特に、夏の暑さや冬の寒さに対する設備・環境面の整備状況に対し意見をいただきました。今夏の異常な暑さや本校校舎老朽化に伴う寒さに対する生徒の健康面を心配されてのことと思います。これらの予算が關わる設備・環境面については、学校だけで解決できるものではありません。今後、学校運営協議会にて協議事項として検討いただいたり、教育委員会へ要望事項として上げたりするなど、少しでも生徒にとって過ごしやすい学習環境に改善できるよう努めていきます。

他にも、多くの保護者の皆様から、学習指導や生徒指導への取組に対し意見をいただきました。学校の対応に係る厳しいコメントの多くは、学校に対する期待と真摯に受け止め、教職員で共有しながら改善に努めていきます。また、今後の励みとなる心温まる言葉や本校への期待の言葉もいただきました。これらの言葉にも甘えることなく、保護者・生徒・地域との信頼関係を深めながら、驚別中ならではの特色ある教育活動を推進していきます。